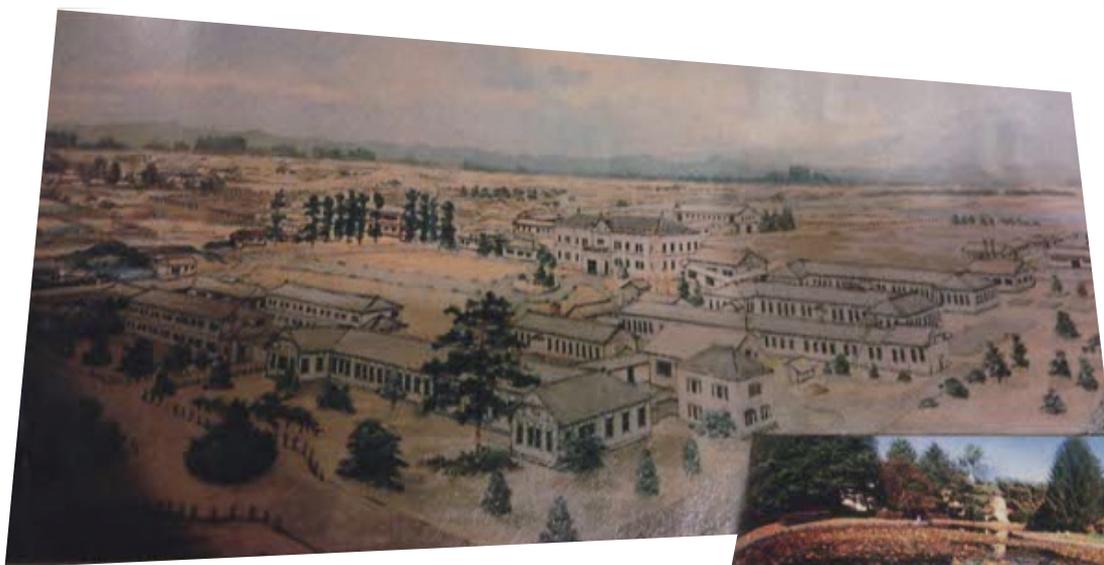


岩手大学への父の思いと喜び

①盛岡高等農林学校（昭和8年～昭和11年）3年間
（1933） （1936）



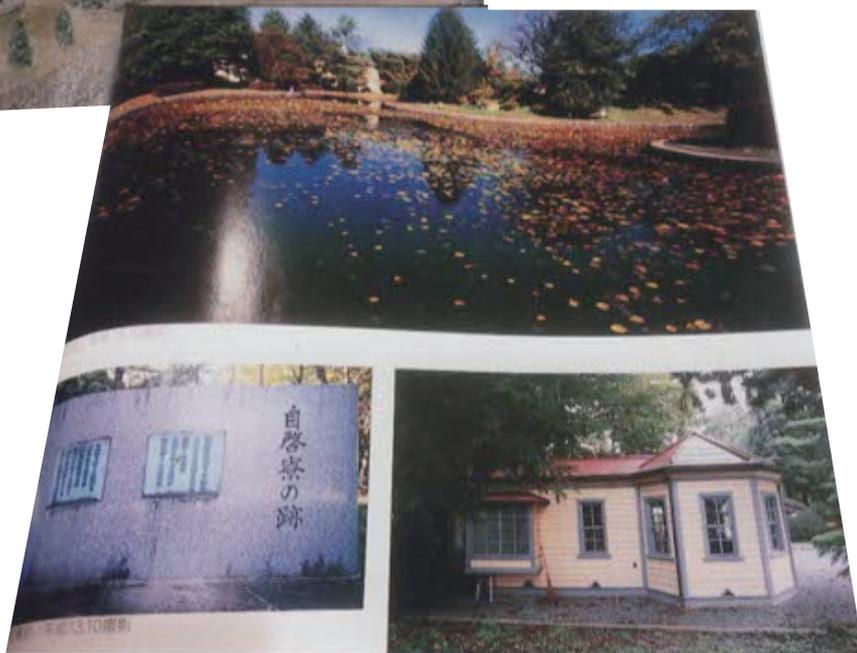
盛岡高等農林学校旗



大正時代の校舎



昭和10年頃の正門（父、在学中）
後に重要文化財指定



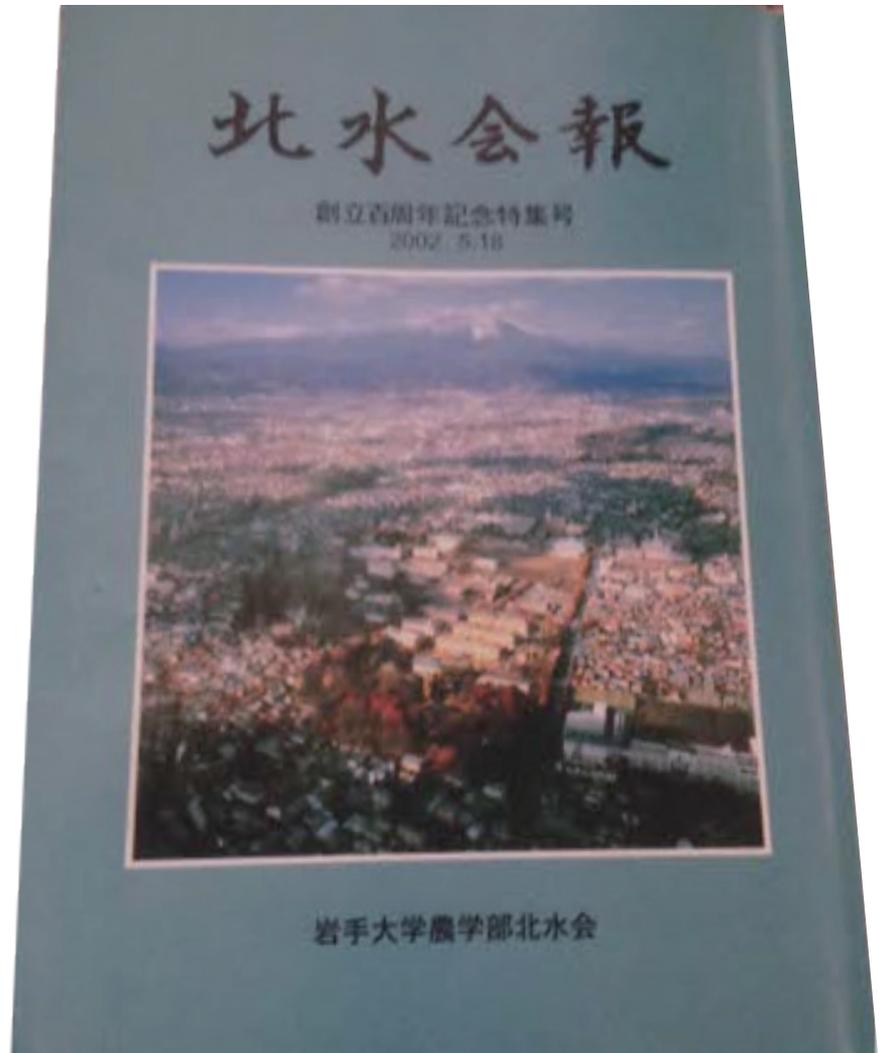
門番所 後に重要文化財指定

③北水会会長・名誉会長時代

会長（昭和61年～平成8年）10年間
名誉会長（平成8年～平成28年）20年間



多数の方々のご寄付で刊行されました

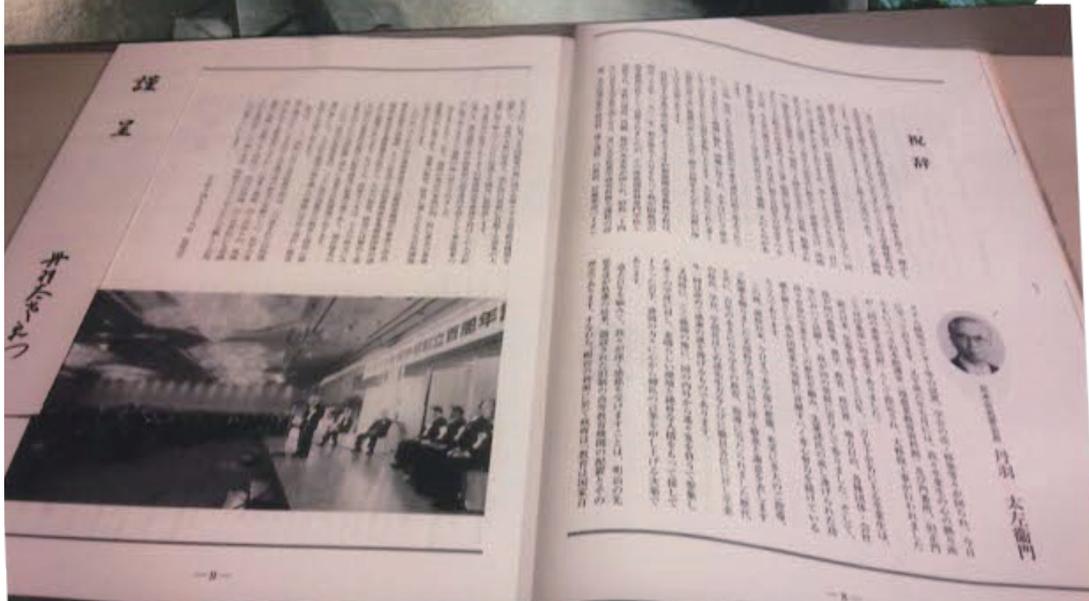


題字は丹羽太左衛門 自筆

（父の希望はこの会報を棺に入れることでした）

④北水会名誉会長時代 (平成8年～平成28年)
(1996) (2016)

創立100周年記念 平成14年
(2002年5月)



うれしい教え子との再会

「盛岡の人たちは温かくてファンダフル。大好きな場所と人たちにまた会えてうれしい」と久しぶりの古里を懐かしんでいた。ローレンシンさんは、現在米国テキサス大で皮膚がん治療の研究をしている。

石割桜

岩手のシンボル



絵

雨森俊彦氏

(父の郷里の名士)